PCW-1283L(18050)

施工説明書

シャワートイレ U シリーズ

※品番は代表的なものを例示

CW-U120R 型　CW-U121L 型
CW-U111R 型　CW-U110L 型

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告．．．取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意．．．取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警告

- 施工説明書に従い、正しく施工してください。（指示実行）
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。（禁止）
  ※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。
- ストレーナーの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めて行ってください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。（指示実行）
  ※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。
- 修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。（分解禁止）
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- 本体に水や洗剤をかけないでください。（水かけ禁止）
  ※ 感電・火災の恐れがあります。
- 確実にアース線をアースターミナルに接続してください。（アース接続）
  ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
- 漏電遮断器を確実に取り付けてください。（指示実行）
  ※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
  ※ 漏電遮断器がない場合は、電気工事店にご相談ください。
- ぬれた手で、漏電遮断器を「入」「切」しないでください。（ぬれ手禁止）
  ※ 感電の原因になります。
- 水道水以外に接続しないでください。（禁止）
  ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- 電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工してください。（指示実行）
  ※ 故障や火災・感電の恐れがあります。
- 給水（湯）管に無理な力がかかっていたり、物やお客様の身体によって荷重をかけやすい取付け方になっていると、お客様がけがやヤケドをしたり、故障･損害が発生する恐れがあります。（指示実行）
  ※ お客様の使用場面を考慮した施工方法をとってください。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。（禁止）
  ※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
- 交流 100V 以外では使用しないでください。（禁止）
  ※ 火災の原因となります。

⚠ 注意

- 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを完全に洗い流してください。（指示実行）
  ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 給湯圧は必ず給水圧以下で接続してください。（指示実行）
  ※ 異常時にヤケドをする恐れがあります。
- 給湯管は高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないでください。（禁止）
  ※ ヤケドをする恐れがあります。
- 電源コードをステップル等で固定しないでください。（禁止）
  ※ 被覆を傷め、感電や火災の恐れがあります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。（指示実行）
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 新築･改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。（指示実行）
  ※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工前のご注意

■シャワートイレ U シリーズ対応表

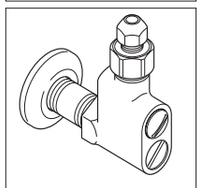
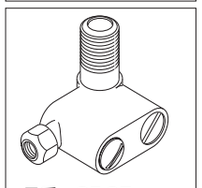
シャワートイレ U シリーズを取り付けることが可能なユニットバスと使用便器は、以下のとおりです。

ユニット品番	旧ユニット品番	使用便器品番	U シリーズ品番	備　考
–	BLCP-1624TAWA	C-25SCU	CW-U120R CW-U120L CW-U110R CW-U110L	
	BLCP-1624TAG2			
–	BLCP-1620TAWA			
	BLCP-1620TAG3			
BLCP-1620TAWB	BLCP-1620TAG2			
BLCP-1420TAWB	BLCP-1420TAG2			
BLCP-1418TAWB	BLCP-1418TAG2			
BLCP-1620TAWC	BLCP-1620TAU2	C-4U	CW-U121R CW-U121L CW-U111R CW-U111L	
BLCP-1418TAWC	BLCP-1418TAU2			
BLCP-1218TAWC	BLCP-1218TAU2			
BLCP-1418TAZD	–	C-13	CW-U120R CW-U120L CW-U110R CW-U110L	便座交換の場合では、操作部の左右どちらのタイプを取り付けることが可能か、事前にお客様にご確認ください。
BLCP-1218TAZD	–			
BLCP-1216TAZD	BLCP-1216TAWD			
	BLCP-1216TAS3			
BLCP-1116TAZD	BLCP-1116TAWD			
	BLCP-1116TAS3			
–	BLCH-1216TAWD			
	BLCH-1216TAS			
–	BLCH-1116TAWD			
	BLCH-1116TAS			
BLCP-1418SBZD	–			
BLCP-1218SBZD	–			
BLCP-1216SBZD	–			
BLCP-1116SBZD2	–			
BLCH-1216SBWD2	BLCH-1216SBS			
BLCH-1116SBWD2	BLCH-1116BS			
BLCH-1115SBWD2	–			
BLCP-1216TBZE	–	C-13	CW-U120R CW-U120L CW-U110R CW-U110L	新規現場のみ対応 （便座交換の場合は不可）
BLCP-1116TBZE2				
BLCH-1216SBWE2				
BLCH-1116SBWE2				
BLCH-1115SBWE2				
BLCH-1014SBWE2				
BLCP-1624TAZA	–	NC-99UB-X1	CW-U121R CW-U121L CW-U111R CW-U111L	
BLCP-1620TAZA				
BLCP-1420TAZA				

ユニットバス側の工事内容、配管引き出し位置については、該当ユニットバスの「取付説明書」を参照してください。

■給水（湯）管の接続は？

- **付属の給水（湯）管は 1.35m です。給水取出位置は給水接続部から 1 m 以内です。**
  ※ 梱包された給水（湯）管の長さが足りない場合は、別売の接続銅管 [300-115(2000)](2m) を使用してください。
- **給水の接続には、2 種類あります。**
  給水方式に合った止水栓（分岐栓）を別途手配してください。
  ※ 必ず当社純正のものからいずれかを選択してご使用ください。
  ※ 便座を交換する際は、お使いの止水栓（分岐栓）をそのまま使用せず、新しい止水栓(分岐栓）に交換してください。

専用止水栓の場合	分岐栓の場合
	
品番：CF-94	品番：CF-95

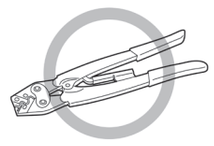
■給水（湯）管を切断したら

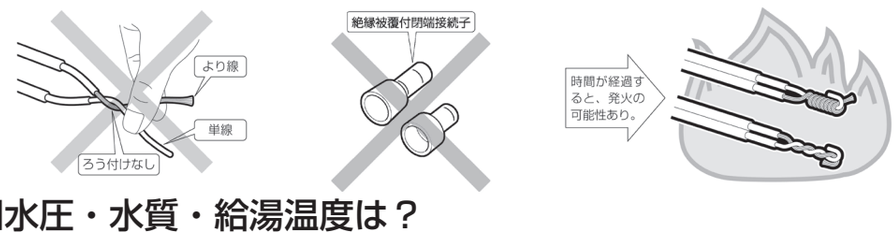
給水（湯）管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を完全に取り除いてから接続してください。
※ 故障の原因となることがあります。

■電源・電気配線について

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- 取り付けるユニットバスに**換気扇が付いている**ことを確認してください。
  ※ 換気扇が付いていないユニットバスに、このシャワートイレを取り付けることはできません。
- 電源は AC（交流）100V、各定格に適した電気配線をしてください。
- 電源コードの長さは 5.3m ですので、電源コードがジョイントボックスに届き、**水のかからない床面より高い位置**に電源プレートを設置してください。
- **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- シャワートイレの電源には、必ず**シャワートイレ専用の漏電遮断器（高速･高感度型）**を設置してください。
  ※漏電遮断器は感度電流 15mA 以下のものをお勧めします。
- **電線接続に、電源端子台や差込形コネクタを用いる場合、より線のまま使用せずに端子台やコネクタに対応した仕様の電線を使用してください。より線（VCT）電線は、絶縁被覆付棒端子を取付けて電源端子台や差込形コネクタに接続する方法を推奨します。電線に単線を用いる場合、電源端子台や差込形コネクタの仕様に合わせて電線被膜を所定の長さにむいてください。**
  接続する際には、端末先端を被覆部が隠れるよう端子穴の奥まで必ず差し込んでください。また、確実に接続しているか、必ず 1 本ずつ引っ張って確認してください。
  ※ 差し込み不十分な場合、接続部が過熱する恐れがあり、焼損や火災の原因になります。
- **単線と単線、単線とより線、より線とより線の場合、接続する各々の電線に適合した裸圧着スリーブを用いて、規定の圧着工具で確実に接続し、適切な絶縁処理を行ってください。**
- **単線と単線、単線とより線、より線とより線の直接接続（ねじり接続等）で、ろう付け（ハンダ付け）をしない接続は不適切な接続であり、絶対に行わないでください。**
  ※ 発火による、火災の原因となります。
- **絶縁被覆付閉端接続子による接続も絶対に行わないでください。**
  ※発火による、火災の原因となります。





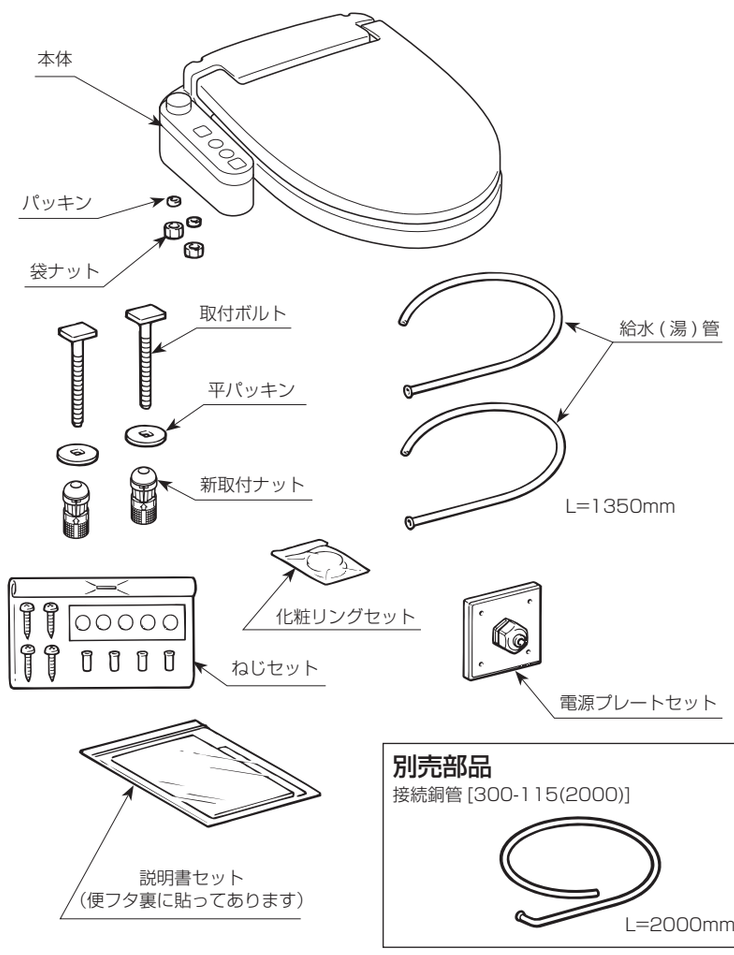
■水圧・水質・給湯温度は？

- **給湯圧は、必ず給水圧以下に設定してください。(但し圧力差は、0.147MPa {1.5kgf/cm²} 以内)**
  給湯圧が高い場合は、減圧弁等で適正な圧力まで下げてください。
  給湯圧が給水圧より高いと、正常に温度調整が行えず、事故につながる恐れがあります。
  (1) 給水（給湯）圧力は 0.059MPa {0.6kgf/cm²} 以上必要です。
  0.059MPa 以下では満足な洗浄シャワーが得られません。
  (2) 給水および給湯は必ず**水道水に接続してください。**
  ※ 水に不純物が多く含まれていると、機械部品の耐久性が低下します。（海岸近くの井戸水には塩素イオン、硫酸イオン、浮遊物が特に多く含まれている場合があります。）
  (3) 給湯温度は、45℃以上、70℃以下の範囲でご使用ください。
  ※ 45℃以下では適温の洗浄シャワーが得られません。また、70℃以上では、故障の原因になります。

■寒冷地について

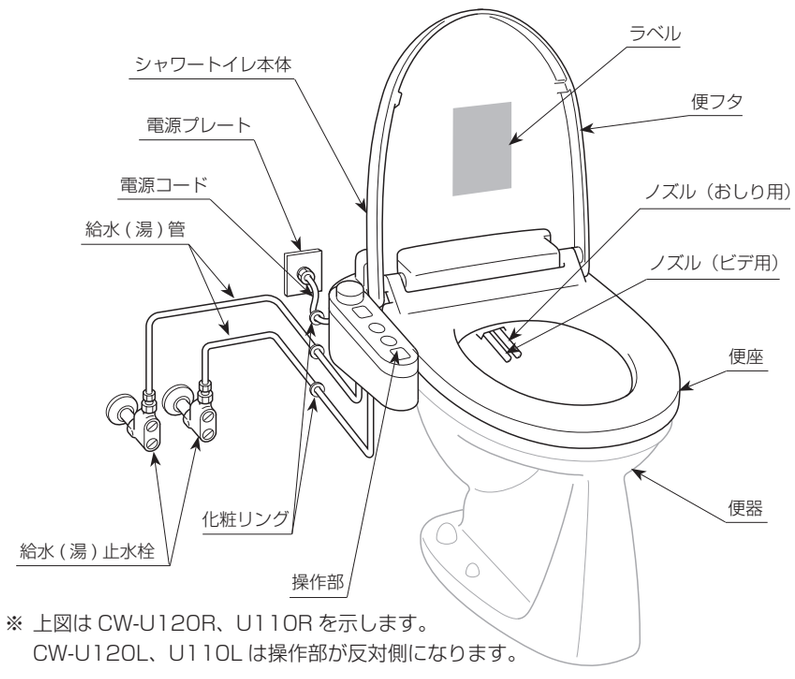
このシャワートイレは、寒冷地仕様ではありません。
凍結の恐れがある場所 (地域) では、使用しないでください。
※ 故障する恐れがあります。

部品の確認（梱包内容を確認してください。）

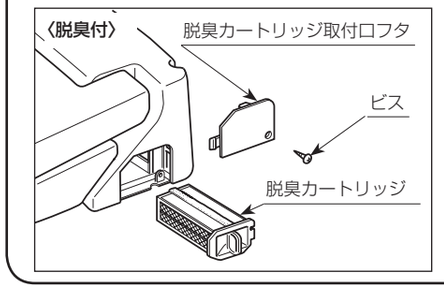


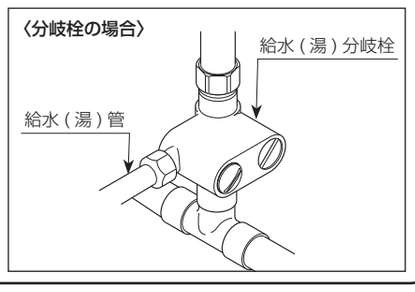
別売部品
接続銅管 [300-115(2000)]

各部のなまえ



※ 上図は CW-U120R、U110R を示します。
CW-U120L、U110L は操作部が反対側になります。





商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173

受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

お客様へ

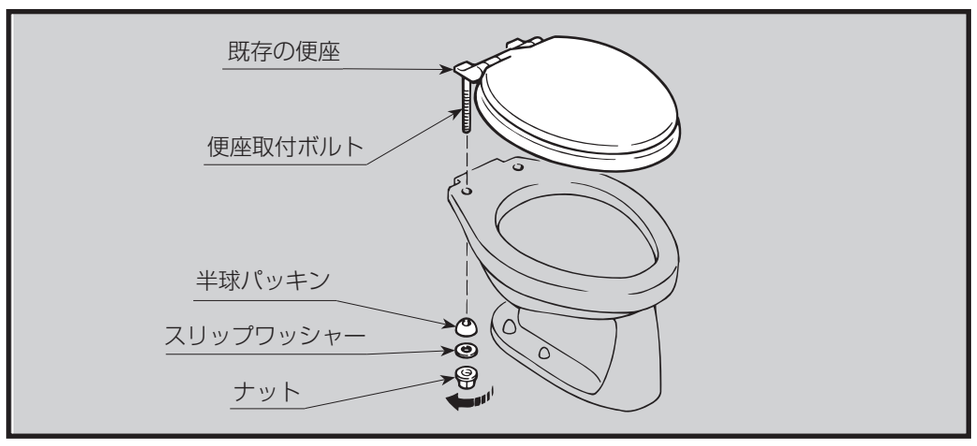
※ 本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの販売店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

施　工　方　法

1 止水栓の取付け

取付けの詳細に関しては、止水栓（分岐栓）に付属の施工説明書をご覧ください。

2 既存の便座の取外し



(1) 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。

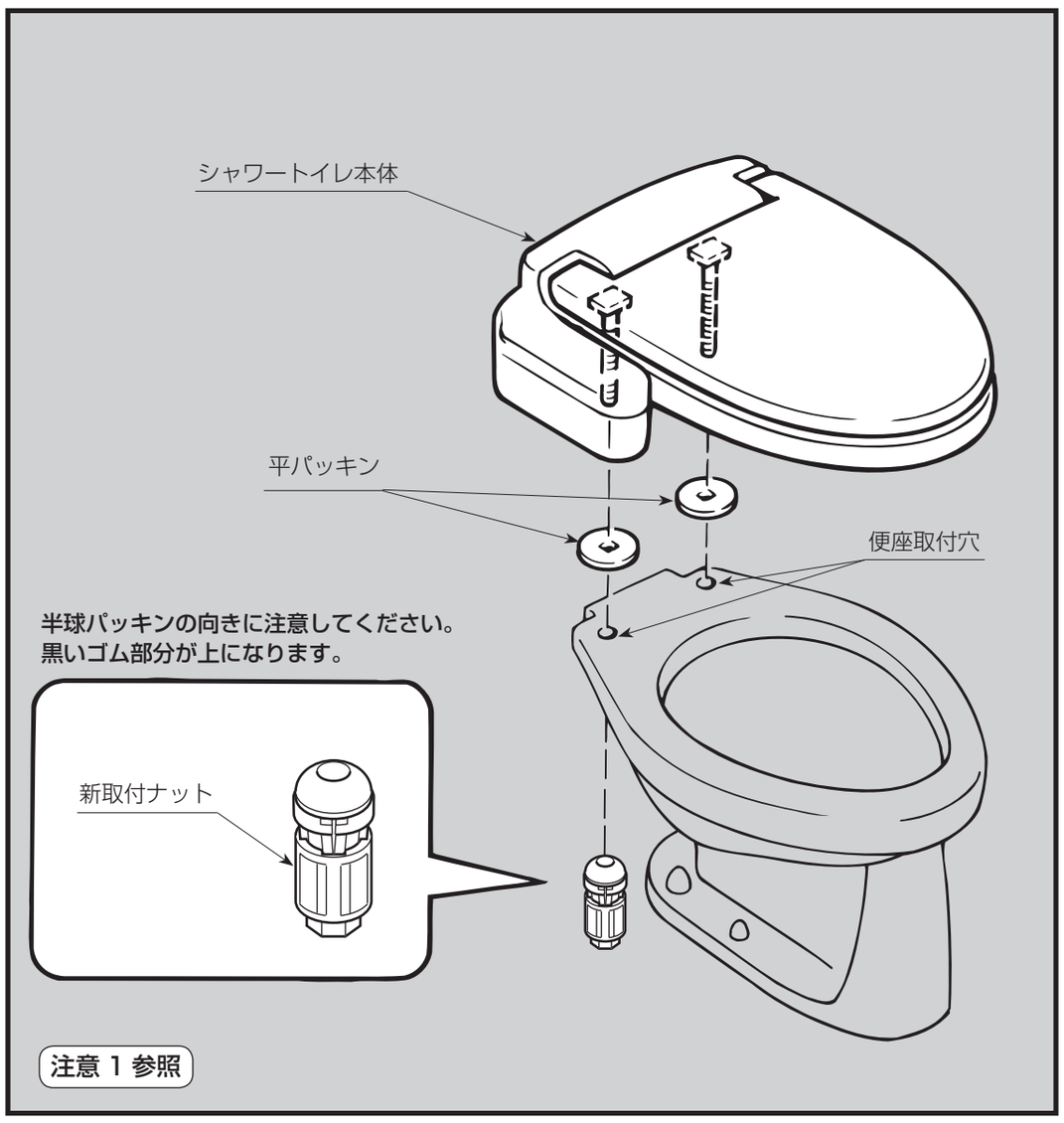
(2) 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。

参考 1 参照

参考 1

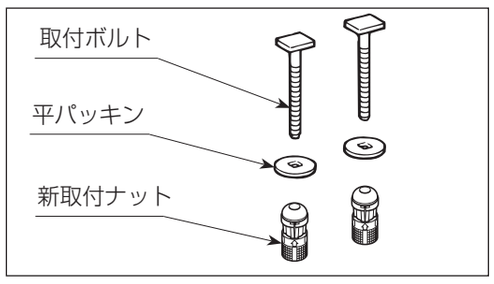
便器によっては、便座の取り外し方が説明と異なる場合があります。
ご注意ください。

3 シャワートイレ本体の取付け

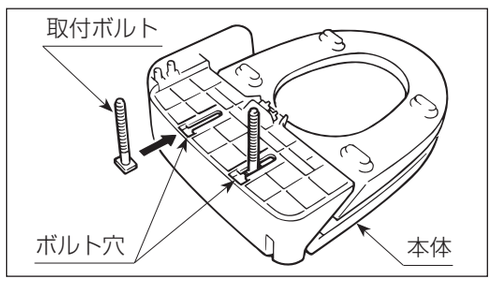


注意 1 参照

(1) 同梱の取付ボルトから新取付ナット、平パッキンを取り外します。

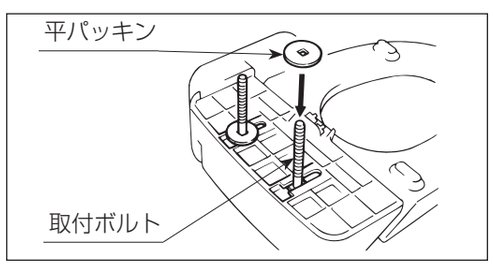


(2) 取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。

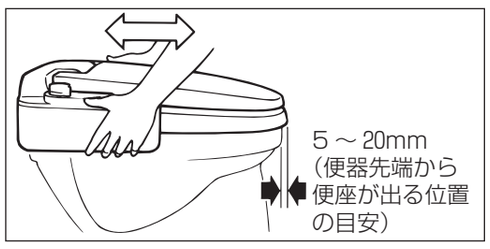


(3) 平パッキンを取付ボルトにはめ込みます。

(4) 便器の便座取付穴に取付ボルトを差し込んで本体を設置します。



(5) 便座の先端が便器の先端より目安として５～ 20mm 出るように前後の位置調節をします。



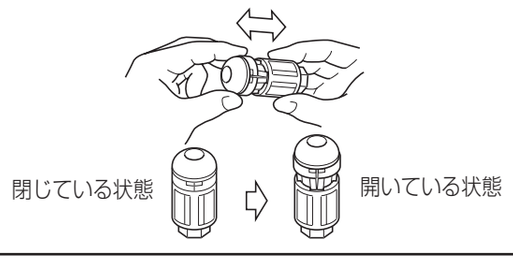
(6) 取付ボルトに新取付ナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。

注意 1

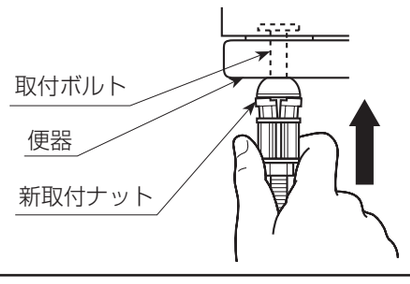
- ナットの締め付けは片利きのないように左右くりかえし、少しづつ行ってください。
  ※ 漏水の原因になります。
- 新取付ナットは、黒いゴム部分が上です。矢印を上に向けて組み付けてください。
- 手で締め付けにくい場合は、工具（対辺 17mm）で増締めしてください。
- 便フタをあけたときに、便座から便器のリムが見えないようにしてください。

【新取付ナットの取付方法】

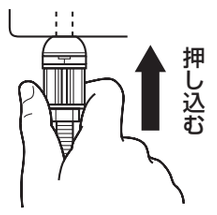
①新取付ナットが開いていることを確認します。
もし、開いていない場合は、下図のように引っぱって開きます。



②新取付ナットを取付ボルトに通します。



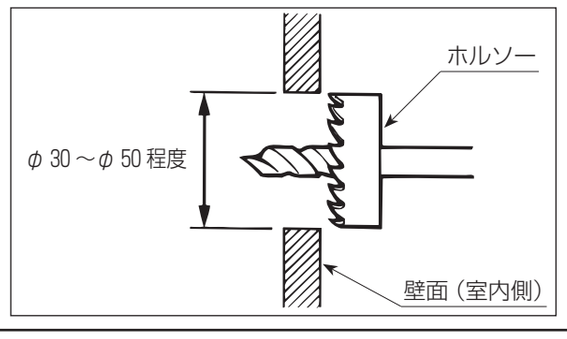
③新取付ナットを上に押し込み、閉じさせます。



④新取付ナットを手で回して、しっかり締め付けます。

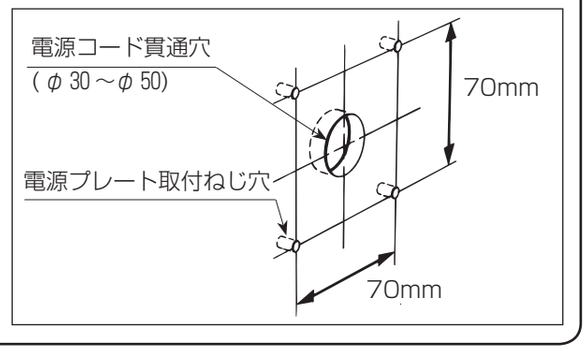
4 壁面の穴あけ

(1) 壁面にホルソー（φ 30 ～φ 50 程度）で、電源コード貫通用の穴をあけます。
※穴あけ位置は、壁裏配管や補強材の位置を確認して、現場にて調整してください。



(2) 電源プレートを壁面に当て、取付穴位置をけがきます。
(3) 取付ねじ穴位置にドリルで下穴をあけます。

タイル壁等プラスチックアンカーが必要な場合　：下穴φ 5
化粧鋼板等プラスチックアンカーが必要ない場合：下穴φ 2.8

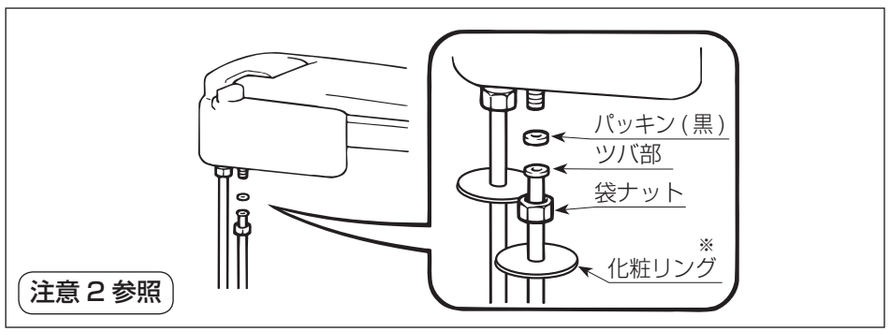


5 給水（湯）管の接続

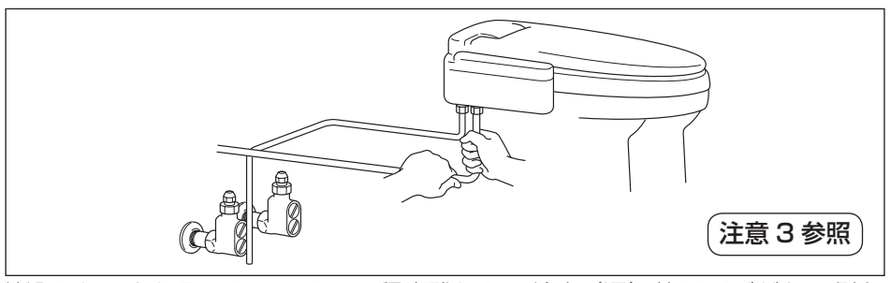
(1) 本体の給水および給湯接続部から袋ナットとパッキンを外します。

(2) 給水（湯）管に（1）で外した袋ナットを通し、給水（湯）管のツバ側を本体の給水（湯）接続部に仮付けします。

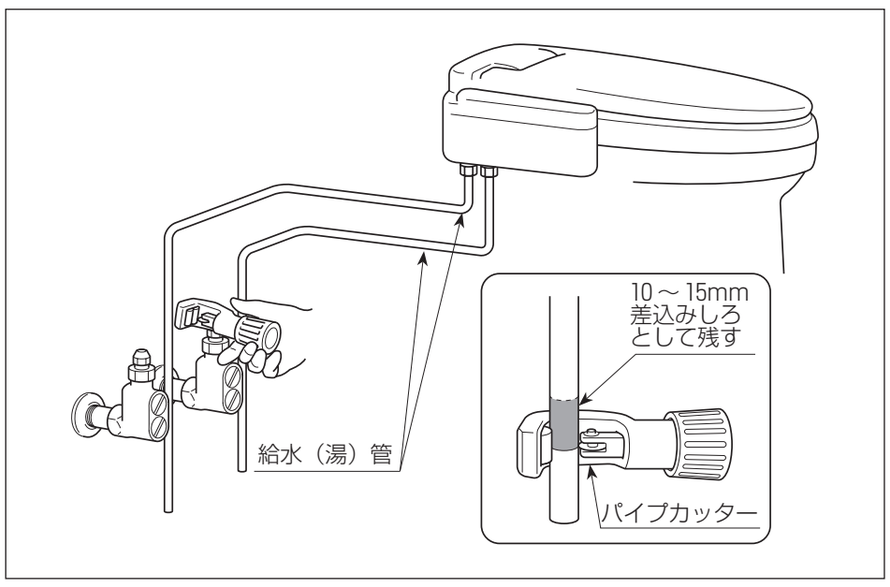
※ 給水（湯）管がユニットバスのエプロン等を貫通する場合は、付属の化粧リングも通しておきます。



(3) 給水（湯）管のツバがない側を止水栓の位置に合わせて、給水（湯）管をゆるやかに曲げます。



(4) 差込みしろとして 10 ～ 15mm 程度残して、給水（湯）管のツバがない側をパイプカッターで切断します。



⚠ 警告

給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。
※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

禁止

給水（湯）管に無理な力がかかっていたり、物やお客様の身体によって荷重をかけやすい取付け方になっていると、お客様がけがやヤケドをしたり、故障・損害が発生する恐れがあります。
※ お客様の使用場面を考慮した施工方法をとってください。

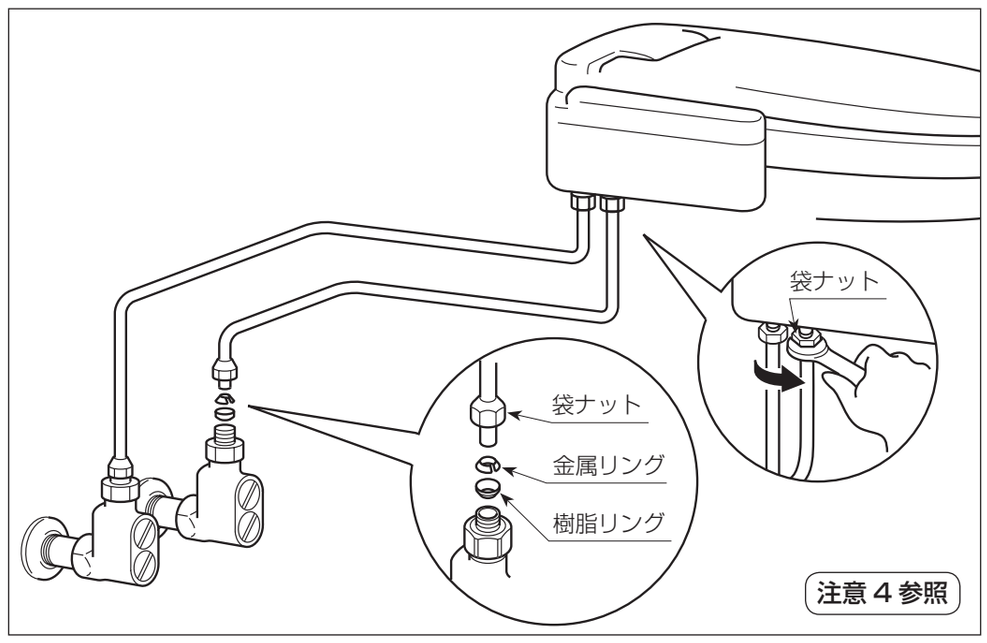
指示実行

(5) 給水（湯）管のツバがない側に袋ナット・金属リングと樹脂リングを通して手で軽く締め付けます。（仮付け）

(6) 給水（湯）管に無理な力がかかっていないことを確認します。

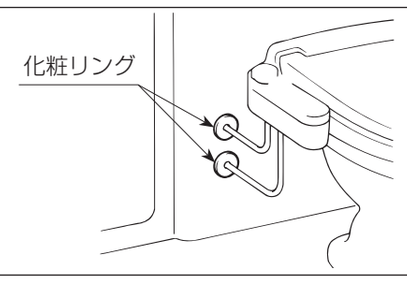
(7) 両方の袋ナットをはじめに手でいっぱいに締め付けてから、工具で 3/4 ～ 1 回転増締めします。

（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）



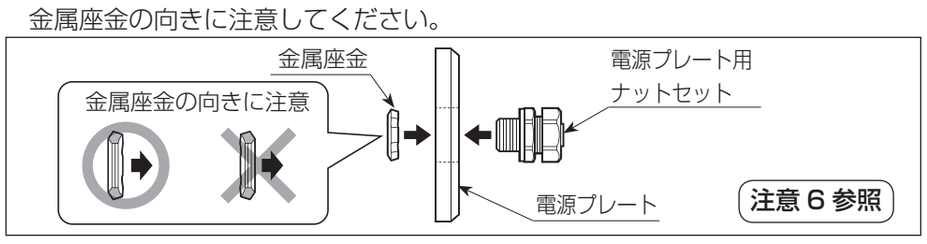
※ ユニットバスのエプロン等を貫通する場合は付属の「化粧リングセット」を使用します。化粧リング裏側のシールをはがし、エプロンの貫通穴に貼り付けます。

注意 5 参照



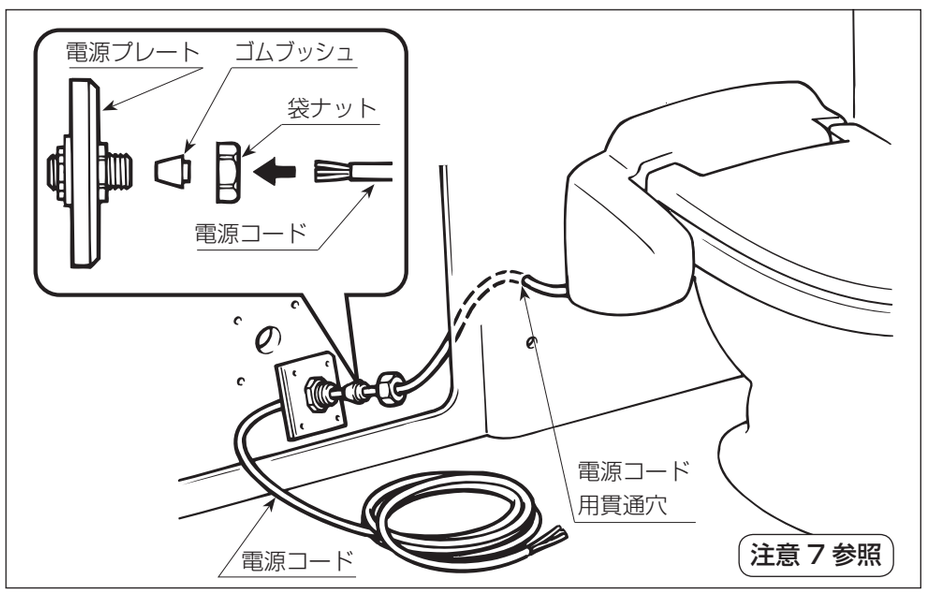
6 電源コードの切断

(1) 電源プレート用ナットセットを電源プレートにしっかりと固定します。
金属座金の向きに注意してください。



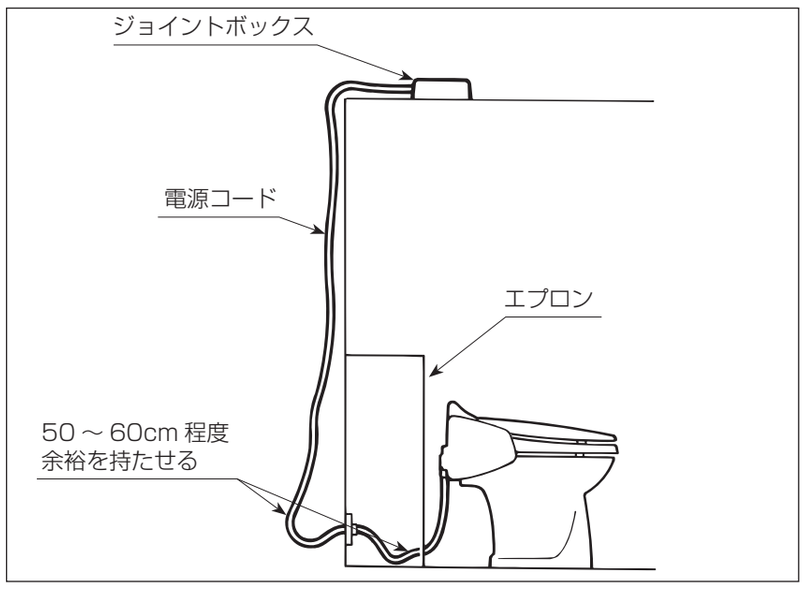
(2) 電源プレートから袋ナットとゴムブッシュを外します。

(3) 本体の電源コードをエプロンの貫通穴に通してから、袋ナット・ゴムブッシュ・電源プレートの順で通します。



(4) 電源コードを天井裏のジョイントボックスまで引き上げます。
※ ジョイントボックス、漏電遮断器は別途工事にてお願いします。

(5) メンテナンスをしやすいように、電源コードの長さを室内・室外共に 50 ～ 60cm 程度余裕を持たせて切断します。



⚠ 警告

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工してください。
※ 故障や火災・感電の恐れがあります。

指示実行

⚠ 注意

電源コードをステップル等で固定しないでください。
※ 被覆を傷め、感電や火災の恐れがあります。

禁止

7 電源プレートの取付け

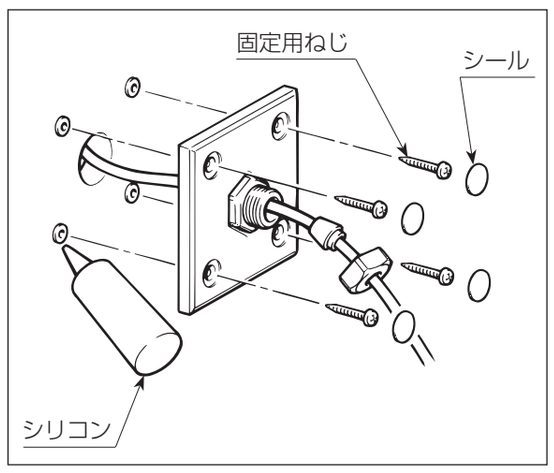
(1) タイル壁の場合は、電源プレート取付穴にハンマー等で、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

(2) 電源プレート裏側と取付穴にシリコンを充填して、固定用ねじ４本で電源プレートを固定します。

(3) ねじの取付部分にシール４枚を張ります。

※電源プレートの汚れをきれいにふきとってから、シールを張ってください。

注意 8 参照



(4) ゴムブッシュを電源プレートにはめて、袋ナットをしっかりと締め付けます。

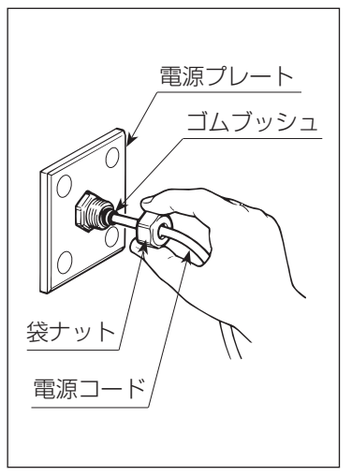
※袋ナットが傷付かないように注意して、スパナー等で締め付けてください。

※締め付けた後、電源コードが抜けないことを確認してください。

(5) 電源プレート全周にシリコンを塗布します。

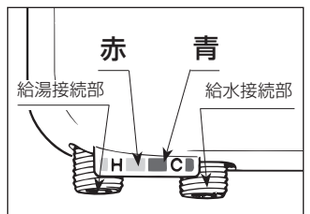
※壁や電源プレートが汚れないように、テープ等でマスキングしてください。

※はみ出したシリコンはきれいにふきとってください。



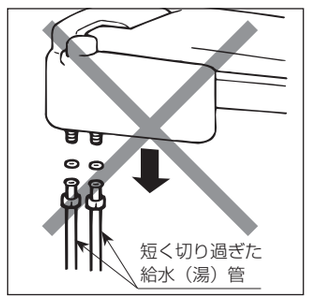
注意 2

● 給水接続部には青いマーク、給湯接続部には赤いマークが付いています。正しく接続してください。



※ L タイプの場合、接続位置は逆となりますので、色で判別して接続してください。

● 給水（湯）管は必ず仮付けし、長さを合わせてから切断してください。



● 短く切り過ぎた給水（湯）管は使用できません。別手配して、再度長さを調節してください。

品番：300-115N

または 300-115(2000)

● 給水（湯）管は鋭角に曲げないでください。管がつぶれると水（湯）が通りにくくなります。

● 給水（湯）管の切断には、必ずパイプカッターを使用してください。

● 給水（湯）管の切断後は、切粉を水洗いなどで完全に取り除いてください。

注意 3

● 給水（湯）管はユニットの内部配管に干渉しないように設置してください。

注意 4

● 金属リングと樹脂リングの組付け順を間違えないでください。

逆組付けすると漏水します。

● 給水（湯）管の接続は確実に行ってください。

袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

注意 5

● 化粧リングはエプロンの汚れを、きれいに拭きとってから貼ってください。

注意 6

ゆるみのないようしっかり固定してください。

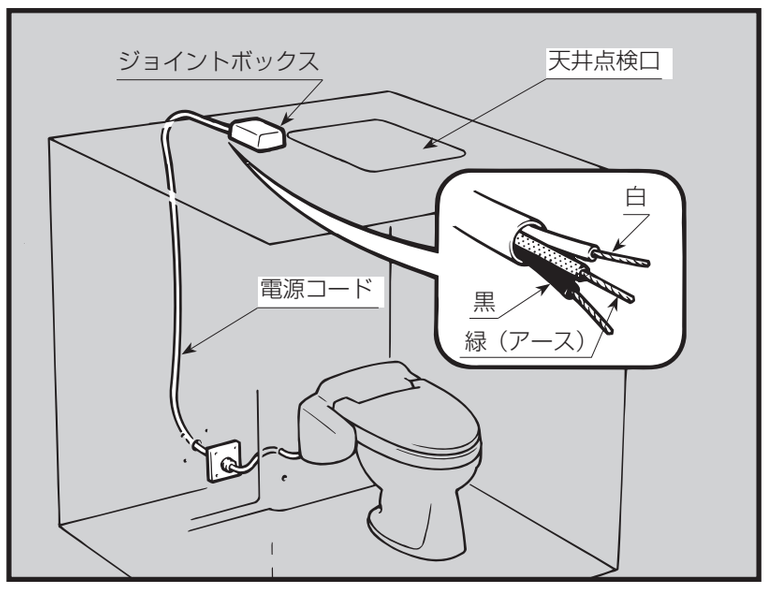
注意 7

ゴムブッシュの取り付ける向きを間違えないでください。

注意 8

● 電源コードが床につかない程度（50 ～ 60cm）に、シャワートイレ本体と電源プレート間のコード長さを調節してください。

8 電源コードの接続



電源コードのアース線 (緑色)、および電源線 (白色、黒色) をジョイントボックスの近くまで配線します。

注意 9 参照

⚠ 注意

施工が完了するまで電源を入れないでください。
※焼損により、漏水する恐れがあります。

禁止

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

アース接続

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工してください。
※ 故障や火災・感電の恐れがあります。

指示実行

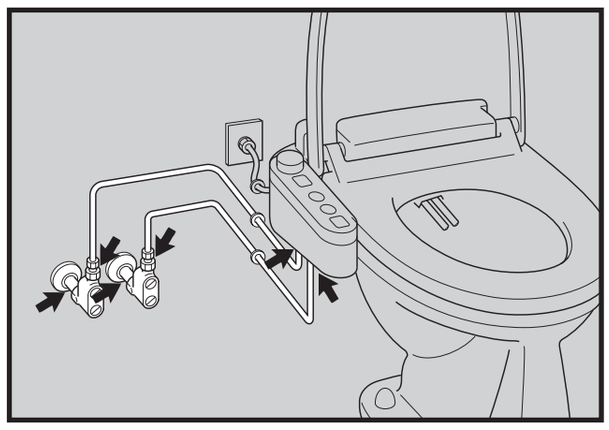
漏電遮断器を確実に取り付けてください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ 漏電遮断器がない場合は、電気工事店にご相談ください。

指示実行

交流 100V 以外では使用しないでください。
※ 火災の原因となります。

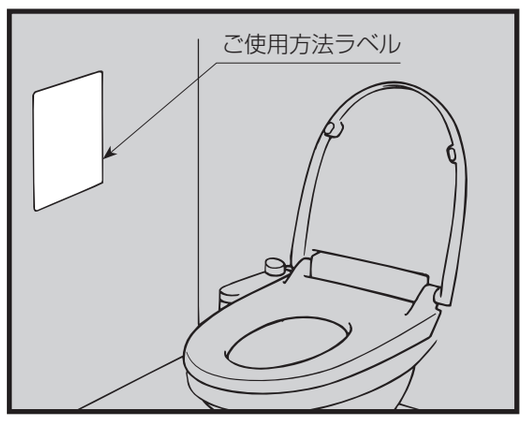
禁止

9 漏水の確認



止水栓を開け、本体の給水（湯）接続部と止水栓から漏水がないことを確認します。

10 ご使用方法ラベルの貼付け



(1) 説明書セットの中からご使用方法ラベルを取り出します。

(2) お客様の要望を確認後、ご使用方法ラベルを貼ります。

注意 9

- 電源ケーブルを接続する場合は、同じ色どうしを接続してください。
  そのとき、コードの先端は必ず接続端子を使用して接続してください。

試 運 転 （便器への施工が終ったら、次の要領で試運転を行います。）

1. 準備動作と脱臭 (脱臭付) を確認してください。

腕を便座にのせて、本体から便器内に給湯管内の冷水が排出され、脱臭のファンが回ることを確認します。(脱臭付)

2. おしり洗浄を確認してください。

腕を便座にのせて、おしりスイッチを押します。
このとき、シャワーが噴出しますので、周囲に飛び散らないように手の平で受け、**シャワーが温かいことを確認します。**
※ただし給湯管内のお湯の温度が適温でないと、少し時間がかかることがあります。

3. ビデ洗浄を確認してください。

おしり洗浄と同じように腕を便座にのせて、ビデスイッチを押します。
ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約 25mm 前にシャワーが噴出します。

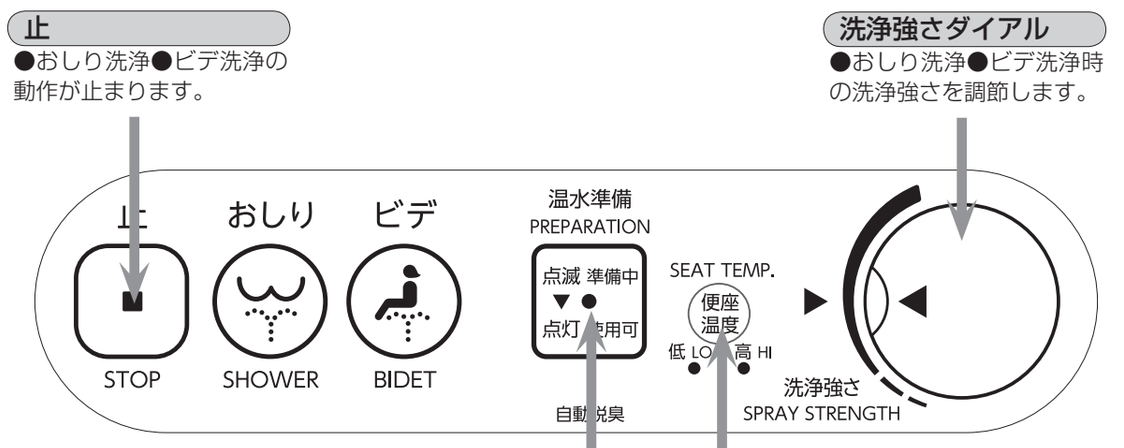
腕まくりをして、肌で直接便座に触れてください。

暖房便座・脱臭付の場合は、暖房便座も確認します。

※着座センサーが付いていますので、便座に触れていないとおしり、ビデ、温水準備、脱臭の機能がはたらきません。

- **便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？**

1. **便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。**
2. **便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め (品番：75-2608) を手配して貼り付ける。**
   ※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。



※ 脱臭は便座に座ると、自動でファンが作動します。(脱臭付)

※右図は R タイプの操作部です。
L タイプは操作部のデザインが若干異なります。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書･所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

ストレーナーの掃除方法

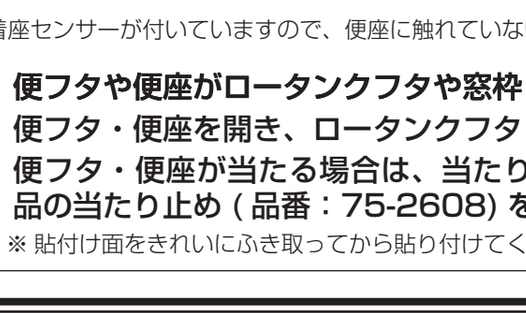
ストレーナーにゴミ等がつまると、適正な性能が得られなくなります。
ストレーナーを掃除する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠ 警告

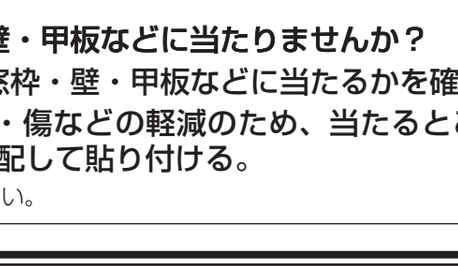
ストレーナーの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めて行ってください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

指示実行

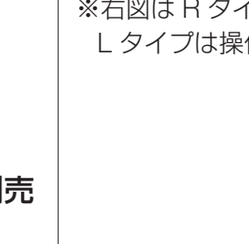
1. 両方の止水栓（分岐栓）をしっかり閉めます。



2. ストレーナーを回して外します。
   ※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



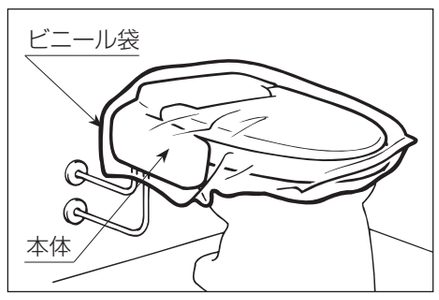
3. ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。



4. ストレーナーを確実に取り付け、止水栓を開きます。

施工完了後の確認

施工後、シャワートイレにキズが付いていないことを確認して、シャワートイレやユニット内を清掃してください。



また、ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、梱包内のビニール袋を便座便フタ側から入れて、本体をカバーしておきます。

長期間使用しない場合

施工終了後、長期間使用しない場合は両方の止水栓をしっかりと閉めておいてください。